

平成23年4月1日

報道各位

社団法人高層住宅管理業協会

## 東北地方会員受託マンションの被害状況について

(平成23年3月16日の中間調査の続報)

社団法人高層住宅管理業協会(所在地：東京都港区、理事長：黒住昌昭)は、東北地方太平洋沖地震で被災した東北6県所在の会員受託マンションの被災状況ヒアリング結果を以下の通り発表いたします。

東北6県では会員の内25社が1,598の管理組合よりマンションの管理を受託しております。このうち1,597組合について被災状況をヒアリングしております。なお、状況把握は棟数ではなく「管理組合」数を単位としております。

89.0%に何らかの被害が生じていますが、倒壊・大破はなく中破が1.7%、小破17.3%、軽微70.0%となっております。

(平成23年3月31日現在)

被害程度	(被害内容の概略)	組合数	割合(%)
大破以上	(倒壊や建替えが必要な致命的被害)	0	0
中破	(大規模な補強・補修が必要)	27	1.7
小破	(タイル剥離、ひび割れ等補修が必要)	276	17.3
軽微	(外見上殆ど損傷なし)	1,119	70.0
被害なし		175	11.0
	合計	1,597	100.0

\* 各会員社員の目視による状況確認をヒアリングしたものです。被害程度に関しては日本建築学会の被災区分に準じていますが、一級建築士等の技術者によるものは限られております。また、県別の区分は不詳です。

社団法人 高層住宅管理業協会

所在地：東京都港区虎ノ門1-13-3 虎ノ門東洋共同ビル2階

理事長：黒住 昌昭

設立：昭和54年10月

会員数：408社(平成23年3月31日現在)

本件お問い合わせ先：社団法人高層住宅管理業協会 03-3500-2719(担当：江田、室井)